

視野が狭くなり、肩こりや頭痛の原因にも…

まぶたが下がる病気「眼瞼下垂」

がんげんかすい

「眼瞼下垂」とは？

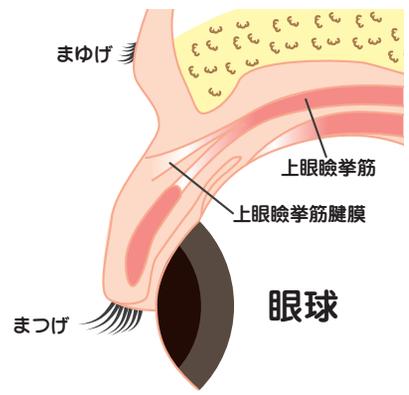
物が見えづらいほか、眼そうに見える、眼精疲労などさまざまな症状が現れる

「まぶたが下がってきて物が見えづらい」「いつも眠たそうに見られる」。これらの症状は、「眼瞼下垂」が原因かもしれません。「中山眼科」の渡邊 敏之先生に、眼瞼下垂の症状や治療法についてお話を伺いました。

「眼瞼下垂」とは、文字通り、下がったまぶたが下がる（このイラストは下向き）。病気で、視界が狭くなったり見えにくくなるのが特徴。下垂の程度によって、軽度、中等度、強度のものがあります。原因は、上まぶたを上げる筋肉（上眼瞼挙筋）の力が弱くなった、それに付着する上眼瞼腱膜が薄くなって伸びてしま

先天性と後天性の違い
「眼瞼下垂は、先天性のものとは後天性のものが多くは加齢によるものです（加齢性眼瞼下垂）。また、コンタクトレンズを長期間使用している人は、若年でも起こるケースがあります。

先天性のものは、生まれた時からまぶたが下がっていて、目を開けることが困難な状態。視機能が異常な場合を除き、赤ちゃんのうちに手術を行うことはまれで、症状の程度を見ながら適切な時に治療を行います。



目帰り手術が可能

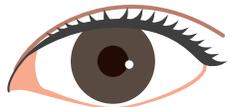
上まぶたの余剰な皮膚を切除するだけで、症状が改善する場合も！



〈中山眼科〉
渡邊 敏之 先生
◆所属
岡山大学病院 形成再建外科

◆資格
日本形成外科学会専門医・日本形成外科学会皮膚腫瘍外科分野指導医・日本創傷外科学会専門医再建・マイクロサージャリー分野指導医

◆所属学会
日本形成外科学会学会・日本美容外科学会・創傷外科学会ほか



▲正常な目



▲中等度の下垂
(上まぶたで瞳孔の上縁が隠れる)

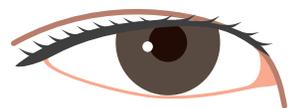


▲強度の下垂
(上まぶたで瞳孔の半分以上が隠れる)



眼瞼下垂 チェックリスト

- 頭痛がする
 - 慢性的な肩こりがある
 - 慢性的な腰痛がある
 - おでこにシワがある(目を開ける時にまゆげが上がる)
 - 眼精疲労がある
 - 不眠がある
 - 体が疲れやすい(慢性的にすっきりしない)
 - コンタクトレンズを20年以上使っている
 - 40歳以上である
- ※チェックした項目が多いほど眼瞼下垂が疑われます



傷跡が目立たないように、二重のラインに沿って、手術を行います(イラストはイメージ)

眼瞼下垂の治療は、まぶたを上げる筋肉(上眼瞼挙筋)を修復する手術が中心です。所要時間は1時間程度。局所麻酔で、日帰り手術可能です。

治療方法
二重まぶたのライン(二重の方は二重まぶたになります)に沿って皮膚を切開し、上眼瞼挙筋の修復を行います。

加齢性眼瞼下垂の場合には、余剰皮膚を切除するほかに、上眼瞼挙筋と付着部の腱板を結び直す「挙筋前転法」という術法を用います。

この手術により、まぶたが上がりがやすくなり、見えにくかった視界が広がって、生活の質(QOL)が向上します。

傷について心配する方がいらっしゃいますが、2、3カ月もたてば、ほとんど分からなくなりま

その他の治療

★眼瞼内反

「眼瞼内反」とは、いわゆる逆まつ毛のこと。まつ毛が眼球側に向かって生えている状態です(イラスト参照)。まぶたやまつ毛が角膜を刺激することにより、目の違和感・痛み・涙や目やにが出る、角膜潰瘍(かいよう)などを生じます。まつ毛を抜きながら様子を見ることも可能ですが、症状が続く場合は手術が必要。手術でまつ毛を前に立たせることで、症状を改善できます。上まぶたの場合は二重まぶたにすると、まつ毛が立ちます。下まぶたも同様の手術でまつ毛を立たせます。



▲眼瞼内反(逆まつ毛)

★眼瞼外反

まぶたが外にめくれる病気。「あかんべー」をしているような下まぶたになります(イラスト参照)。加齢によるまぶたのたるみや、顔面神経の障害などが原因。目を閉じきれなくなったり涙が正常に流れなくなったりすることで、ドライアイを引き起こします。手術によってたるんだ下まぶたを引き締めることによって、改善します。



▲眼瞼外反

★眼瞼痙攣

「眼瞼痙攣」は目を閉じる筋肉(眼輪筋)が勝手に収縮・緊張する病気。相対的に目が開きづらくなり、日常生活に支障が出ることもあります。筋肉を弛緩(しかん)させる作用のあるボトックスの局所注射による治療を行います。

眼瞼下垂の手術は、保険適応です。費用は3割負担の方で、片目2万4000円(両目4万8000円)程度。手術は日帰り可能です。仕事で忙しい方も無理なく受けられます。まぶたが下がってきて物が見えにくい症状のほかに、「頭痛や肩こりに悩んでいる」「夜、眠れない」「疲れやすい」などの不定愁訴しゅうそがある方も、「もしかして私の不調は、眼瞼下垂が原因かもしれない…」と気になる方。一人で悩まずに、早めに受診して医師に相談してください。

眼瞼下垂の手術は保険適応
気になる人は早めに相談を